

資源高により豪州の貿易収支は拡大

- ロシアは天然ガス生産量世界第2位、液化天然ガス（LNG）輸出量世界第4位、石炭生産量世界第6位とエネルギー大国であり、資源の脱ロシア化を進めることは欧州など消費国にとって、経済的な悪影響が及ぶリスクがあります。
- 一方、資源国である豪州にとっては、資源価格上昇による交易条件改善や資源輸出シェア拡大など、経済的な恩恵を受けており、足元の貿易収支は黒字幅が拡大傾向にあります。貿易取引による実需面は引き続き豪ドル相場の安定を支える要因になると考えられます。

主要国の石炭・天然ガスの生産・輸出シェア

天然ガス生産

順位	国	シェア
1	米国	23.7%
2	ロシア	16.6%
3	イラン	6.5%
4	中国	5.0%
5	カタール	4.4%
6	カナダ	4.3%
7	豪州	3.7%
8	サウジアラビア	2.9%
9	ノルウェー	2.9%
10	アルジェリア	2.1%

液化天然ガス（LNG）輸出

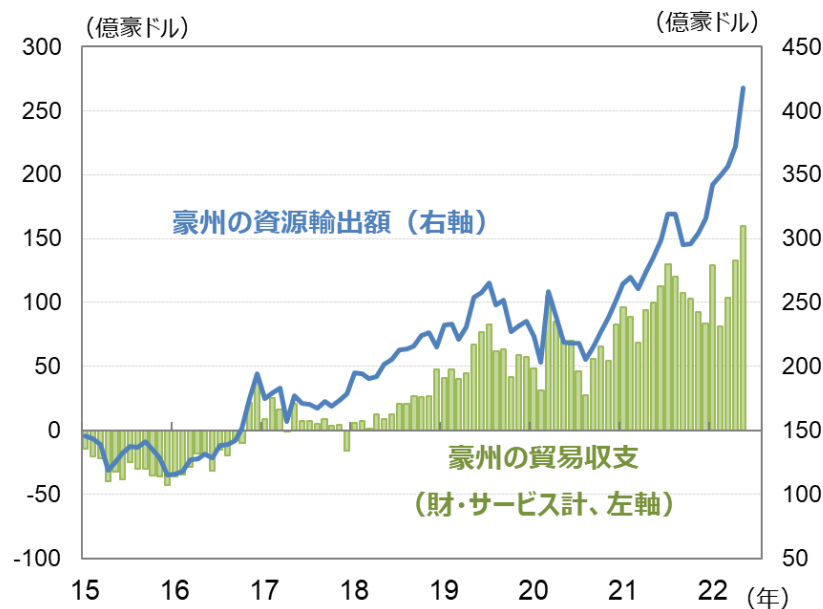
順位	国	シェア
1	豪州	21.8%
2	カタール	21.7%
3	米国	12.6%
4	ロシア	8.3%
5	マレーシア	6.7%
6	ナイジェリア	5.8%
7	インドネシア	3.4%
8	アルジェリア	3.1%
9	トリニダード・トバゴ	2.9%
10	オマーン	2.7%

石炭生産

順位	国	シェア
1	中国	50.4%
2	インド	9.8%
3	インドネシア	7.3%
4	米国	6.3%
5	豪州	6.2%
6	ロシア	5.2%
7	南アフリカ	3.2%
8	カザフスタン	1.5%
9	ドイツ	1.4%
10	ポーランド	1.3%

(出所) BP「Statistical Review of World Energy」 ※2020年時点

豪州の資源輸出と貿易収支の推移



(出所) 豪州政府統計局（期間）2015年1月～2022年5月

**「資源の脱ロシア化」の動きによって、資源国である豪州は経済的恩恵。
資源価格上昇は豪州にとって貿易黒字要因となり、実需面では豪ドル高が生まれやすい環境に。**

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することをご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。